

令和 4 年度 第 5 回 理事会議事録

日 時：令和 4 年 9 月 14 日（水） 19：00～21:00

場 所：代表理事自宅

[出席者]

理 事：小嶺衛、立津統、末吉恒一郎、久高将臣、仲宗根美紀、金城良和、 當間智史、宮里由乃、比嘉俊文、南部路治、当真祐二、玉城すみれ、武富新太郎

監 事：仲西孝之

欠 席：平良雄司、神谷喜一、千知岩伸匡

書 記：大宜見直輝

WEB 担当：上地誠之

[審議事項]

- ・第 1 号議案 入会の承認に関する件 …【資料ファイル 1】
- ・第 2 号議案 島をつなぐ美ら夢サイエンスプロジェクト『琉球リケジョ』の後援に関する件…【資料ファイル 2】
- ・第 3 号議案 令和 3 年度功労賞表彰状並びに記念品贈呈に関する件【資料ファイル 3】
- ・第 4 号議案 豊見城市長選挙徳元つぐと氏候補へ推薦状の交付及び政策協定書の締結に関する件

議決に加わることの出来る理事数 15 名

出席者理事数 13 名

上記のとおり、理事及び監事の出席が確認され、代表理事小嶺衛が議長となって、本理事会は Web 会議システムを用いて開催する旨宣言した。

議長小嶺衛は、参加理事立津統、末吉恒一郎、久高将臣、仲宗根美紀、當間智史、宮里由乃、比嘉俊文、玉城すみれ、武富新太郎、金城良和、南部路治、当真祐二、監事仲西孝之、千知岩伸匡に対し、Web 会議にて本理事会に出席する旨を説明し、Web 会議システムにより、出席者の映像と音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一同に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いのできる状態となっている事が確認されて、議案の審議に入った。

[報告事項]

1. 会長

※月次活動報告

2. 副会長

※月次活動報告

3. 事務局

※月次活動報告

4. 社会職能局

※月次活動報告

5. 教育学術局

※月次活動報告

6. 各種委員会

第 1 号議案 入会の承認に関する件

提出日：令和 4 年 9 月 13 日	提出者：上地誠之
担当局：事務局	担当部：総務部
議案主題	入会の承認に関する件 【資料ファイル 1】
議案内容及び提出理由	<p>【入会申請者】計 3 件 承認：3 件、 否認：0 件、保留：0 件 令和 4 年度累計：116 名 (R4. 4. 19～R4. 9. 13)</p> <p>【会員動向】令和 4 年 8 月 31 日現在 ※連絡不能者含む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在会会員数：1553 名、施設所属会員数：1428 名、自宅会員数：125 名、休会：305 名 ・会員所属施設数：281 施設 <p>【期間会員動向】令和 4 年 8 月 1 日～令和 4 年 8 月 31 日 ※当協会入力状況から検索</p> <p>異動：6 名 (県内：4 名 転入：2 名 転出：0 名) (うち再申請：0 名 否認：0 名)</p> <p>休会：3 名 ※休会継続含む 退会：0 名 復会：2 名</p>
審議内容	<p>1 入会の承認について</p> <p>(質問) 末吉：今回の新入会者数は例年と増えたのか</p> <p>(回答) 上地：例年と同様で変わりなし。休会者は増加傾向。今後、休会理由を調べ報告します。</p> <p>(質問) 立津：継続して休会は可能なのか</p> <p>(回答) 上地：毎年休会手続きをしないといけない。</p>
審議結果	<p>全員一致で可決</p> <p>可：13 名</p> <p>否：0 名</p>
	<p>担当局：事務局</p> <p>担当部：総務部</p>
備考	

第 2 号議案 島をつなぐ美ら夢サイエンスプロジェクト『琉球リケジョ』の後援依頼について

提出日：令和 4 年 9 月 13 日	提出者：上地 誠之、勢理客 直子
担当局：事務局	担当部：総務部
議案主題	「島をつなぐ美ら夢サイエンスプロジェクト『琉球リケジョ』」の後援依頼について

<p>議案内容 及び 提出理由</p>	<p>内閣府の政策「第6期科学技術・イノベーション計画」に基づき、科学技術振興機構による「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に琉球大学グローバル教育支援機構の「島をつなぐ美ら夢サイエンスプロジェクト『琉球リケジョ』」が採択された。講演内容としては、医療関連職種の紹介を行う予定で、理学療法士の紹介も行いたいため、当協会への後援依頼があった。</p> <p>本件は定款4条の(1)理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に関するための事業に基づくものと思われ、後援として関わり、中学生・高校生とその保護者・中学・高校教員が受講されることで県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するものと思われる。</p> <p>つきましては、可否について審議いただきたい。</p> <p>テーマ：「島をつなぐ美ら夢サイエンスプロジェクト『琉球リケジョ』」 内容：医師や保健師や理学療法士等の医療専門職の方々にプレゼンしていただく予定 日時：令和4年10月15日(土) 午後予定 場所：浦添市産業振興センター・結の街及びWeb開催(Zoom) 予定 対象：沖縄・奄美地域の女子中学生・高校1年生を主な対象、 保護者、中学・高校教員 担当窓口：琉球大学医学研究科分子解剖学講座准教授 清水千草先生</p>		
<p>審議内容</p>	<p>後援の可否について</p>		
<p>審議結果</p>	<p>全員一致で可決 可：13名 否：0名</p> <table border="1" data-bbox="359 1193 1442 1238"> <tr> <td data-bbox="359 1193 810 1238">担当局：事務局</td> <td data-bbox="810 1193 1442 1238">担当部：総務部</td> </tr> </table>	担当局：事務局	担当部：総務部
担当局：事務局	担当部：総務部		
<p>備考</p>	<p>別添：科学技術振興機構(JST)「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」令和4年度採択機関の決定について、令和3年案内フライヤー ※依頼文書は後日送付される予定。</p>		

第3号議案 令和3年度功労賞 表彰状並びに記念品贈呈に関する件

<p>提出日：令和4年 9月 14日</p>	<p>提出者：末吉恒一郎</p>
<p>担当局：表彰審査・査読委員会</p>	<p>担当部：</p>
<p>議案主題</p>	<p>令和3年度功労賞 表彰状並びに記念品贈呈について</p>
<p>議案内容 及び 提出理由</p>	<p>当会表彰及び被表彰者推薦規程にて、下記基準に準じて功労賞を表彰することとなっている。令和3年度の被受賞者は55名であった。 本規程は、令和3年6月から施行されたため、下記基準を満たす会員全てを表彰する予定である。 そこで、表彰状並びに記念品贈呈について、ご審議いただきたい。</p> <p>〈表彰規程〉 第8条 功労賞は、本会会員として30年以上(休会期間は除く)、本会に在籍した者に授与する 2 表彰にあたっては、次の第1号を満たすことを基準 (1) 会員在籍年数が、30年以上の者</p>

	〈表彰状並びに記念品贈呈〉 表彰状授与、記念品（OCS 商品券 3,000 円） ・表彰状 100 円×55 名 5,500 円 ・OCS 商品券 3,000 円×55 名 165,000 円 ・送料 角形 A3 号(A3 サイズ)50g 以内 200 円×55 名 11,000 円 計 181,500 円	
審議内容	表彰状並びに記念品贈呈に関する可否 〈 可 ・ 否 〉 （質問）南部：前例として商品券はあったのか （回答）末吉：時々で記念品は変わる。理由は趣味などが異なる、USB はたくさん貰っているから嬉しくはないだろうと委員会でも意見が出ました。色々考えて今回は商品券にした。 小嶺：医師会では前例として商品券はあった。 上地：公益法人として、法律では会員には景品などを渡すのはいけないと記されている。 末吉：まだ時間があるので再度検討します。	
審議結果	表彰について全員一致で可決 可：13 名 否：0 名 ※記念品贈呈に関しては今後検討。	
	担当局：	担当部：
備考	令和 4 年度事業計画書・予算書 令和 3 年度 OPTA 功労賞被受賞者名簿	

第 4 号議案 豊見城市長選挙徳元つぐと氏候補へ推薦状の交付及び政策協定書の締結に関する件

提出日：令和 4 年 9 月 20 日	提出者：会長 小嶺 衛
担当局：	担当部：
議案主題	豊見城市長選挙 徳元つぐと候補へお推薦状の交付および政策協定書の締結について
議案内容及び提出理由	10 月 7 日投開票の豊見城市長選挙へ立候補している徳元つぐと氏への当会からの推薦状の交付および政策協定書の締結について理事の皆様の承認をいただきたい。

審議内容	<p>1. 推薦状の交付について</p> <p>※国会議員と地方議員の政策協定の内容は違う。</p> <p>久高) 各項目に対して挙げてきたものを政策活動推進委員会で持っておくと協会として政策協定を結ぶ意味があるかと思います。</p> <p>當間) 徳元つぐと氏の WEB サイトでも 1~9 の公約に「がんじゅうを取り戻す」ということが挙げられています。この公約からでも協会としても合致する所もあると思います。</p> <p>末吉) 推薦状を送る行為が選挙運動にあたらぬのかということが気になっています。しっかりと選挙活動にはあたらぬというのが示せればいいのかと思いますが、公益法人として法律上・制度上の中でしっかりと活動できているのかという裏付けについては確認が必要だと思います。</p> <p>小嶺) 会員へ説明できるように考えてほしい</p> <p>南部) 数が多くなってきたときの処理する能力（審議する時間等）が気になります。全て対応していくのは大変かと思います。</p> <p>當間) 今後、他都道府県の情報収集しながら協会として動いていかないといけないと思いますし、日本理学療法士連盟からも情報収集していきたいと思ます。</p>	
審議結果	<p>全員一致で可決</p> <p>可：13名</p> <p>否：0名</p>	
備考	担当局：	担当部：

公益社団法人 沖縄県理学療法士協会

会長 小嶺 衛

監事 仲西 孝之

監事 千知岩 伸匡